



左のQRコードから、ホームページにアクセスできます。

切っ子



文責 宮崎 淳子

先日の大雨には、驚かされました。子供たちに被害状況を聞いたところ、「近くの川が氾濫していた」「電化製品が使えなくなった」などがありました。しかし、けがや命にかかわるようなことがなく、安心しました。切木小に長く勤めている職員からも「こんな状況は初めて」との声がありました。今後も、自然災害や感染症について、細心の注意を払っていきたいと思っています。唐津市の感染症の状況としては、インフルエンザとコロナの感染者が同時に増加しています。切木小では、感染症対策として、手洗いや消毒の指導を続けていますが、今一度、職員が意識を高め、児童への指導を徹底するよう確認を行いました。

9月1日

<始業式>

9月1日に2学期の始業式を行いました。夏休みの状態から、気持ちを切り替えて「よし、やるぞ」と、自分にしか入れられない「心のスイッチ」を入れて頑張ってもらいたいという内容の話をしました。大人にも言えることだと思います。私自身も「心のスイッチ」を入れよう…と思いました。

<教科書配付>

教科書のほとんどは、4月の始業式に配付します。9月1日には、後期で使う教科書を配付しました。相談室で配付を行いました。取りに来た児童は、新し教科書を丁寧に、大事そうに教室まで運んでいました。きっと、しっかり学んでくれることでしょう。

<地震避難訓練>

9月1日は防災の日です。防災の日は1960年に「災害のことを知って、防災意識を高めよう」と制定された日です。切木小では、毎年この日に地震避難訓練を実施しています。

心のスイッチ

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかつたら 見えても 見えない

人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかつたら 聞いても 聞こえない

頭もそうだ
はじめから よい頭 悪い頭の区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ」と
心のスイッチが入ると
頭も すばらしいはたらきを始める

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし
すばらしくもしていく

電灯のスイッチが
家の中を明るくし 暗くもするよ様に

東井義雄



地震発生と、避難指示の放送を聞いて、子供たちは、机の下にもぐります。どのクラスも静かに身の安全を確保していました。

避難訓練終了と、災害時の注意等について、井上先生が放送で伝えました。

子供たちの安全のために

<遊具の修理>

運動場の遊具（登り棒とブランコ）が、腐食により、危険な状態でした。長い期間使用禁止としていましたが、市の手配により、修理に来てくださっています。登り棒についてはその場で修理を進められました。ブランコについては、一度持ち帰り、修理をしてから再設置となるそうです。子供たちは、楽しみにしていることでしょう。



<運動場に柵を設置>

雨が降った次の日、運動場のトラックに、車のタイヤ痕が付いていることがよくあります。何度も整地していますが、運動会や持久走大会を控え、このままでは子供が足を取られて危険だと思い、トラック内に車が入



このようなタイヤ痕が、数か所ありました。

らぬよう、柵を付けました。児童クラブの迎え等、不便なところもあるかと思いますが、ご協力をお願いします。

<ウォーターサーバー設置>

唐津市から、希望した学校へ、ウォーターサーバーが設置されました。まだまだ暑い日が続く日中、下校までに、自宅から持って来たお茶が底をついてしまう子供もいます。そんな子供は、このウォーターサーバーで水を補給することができます。衛生管理のために、いくつかの約束は決めています。熱中症予防のために活用しています。



<熱中症対策をしながらの体育>

熱中症対策のため、運動会の日を一月ほどずらしました。しかし、体育の授業は行わなければなりません。先生方は、いろいろな工夫をして授業を行っています。右の写真のように、カードを書いたり振り返りをしたりするのはエアコンが効いている教室で行い、軽い運動を、扇風機を回しながら切っ子ホールで行うなどの対応をしている学年もありました。



ソーランの練習を、エアコンの効いた教室で行っている学年もありました。人数を半分ずつにし、距離を取ることや、休憩を入れることを心掛けながら踊っていました。

<学校教育目標> 自ら気づき 考え 実行する